

地域・中小企業研究所 ニュース&トピックス (2017.6.23)

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048 URL http://www.scbri.jp e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

信用金庫の定期積金の動向(28年度末)

とね かずゆき **刀禰 和之**

ポイント

- ▶ 信用金庫の平成 28 年度末の定期積金残高は、前期比 6.8%減少の4兆 6,475 億円となり、前期 (1.0%増)から再び減少に転じた。
- ▶ 地区別の定期積金残高は、全 11 地区で前期を下回った。四国が前期比 19.7%減となったほか、 九州北部(14.3%減)、東京(10.0%減)が2桁の減少を示した。
- ▶ 18年度末から28年度末までの定期積金残高増減状況は、①増加が70金庫、②増減なしが2金庫、 ③減少は192金庫であった。
- > 定期積金残高と口数の増減関係は、①残高・口数ともに増加が 18 金庫、②残高増・口数減が 52 金庫、③残高減・口数増が5金庫、④残高・口数ともに減少は 187 金庫であった。
- ▶ 28 年度末の定期積金比率は、①2%未満が25金庫、②2%以上4%未満が115金庫、③4%以上6%未満が97金庫、④6%以上は27金庫となる。

※本稿は、日本銀行「預金者別預金調査表」より作成している。

1. 定期積金の状況

(1) 残高の推移

平成 28 年度末の定期積金残高は、前期比 6.8%、3,417億円減少の4兆6,475億円となり、前期(1.0%増)から再び減少に転じた(図表1)。預金残高に占める定期積金の割合(定期積金比率)は、3.3%となる。

18年度末の残高と比較すると、22.4%、1兆3,441 億円減少し、定期積金比率も 5.3%から 2.0 ポイント低下している。

(2) 口数の推移

28 年度末の定期積金口数は、前期比 4.4%、39.8万口減少の857.6万口となった(図表 2)。18 年度末と比較すると、31.9%、402 万口の減

少となる。

残高の減少を口数の減少が上回った結果、 1口あたり定期積金の残高は47万円から54万 円に増加している。

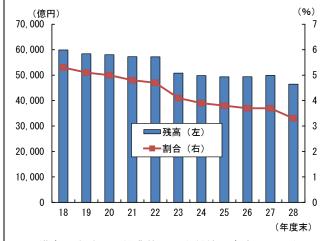
2. 地区別の状況

27 年度末の地区別の定期積金残高は、全 11 地区で前期比減少した(図表3)。

なかでも四国(前期比 19.7%減)、九州北部(14.3%減)、東京(10.0%減)の3地区で2桁の減少を示した一方で、南九州は 0.7%減にとどまった。定期積金比率をみると、北陸の4.9%から近畿の2.5%まで開きがみられる。

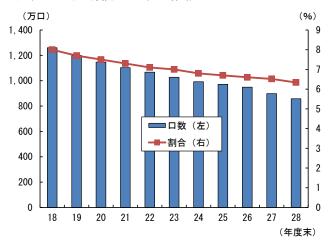
18 年度末との比較では、中国(39.8%減)、

(図表1) 定期積金の残高の推移



(備考) 本稿では他業態との合併等は考慮していない。

(図表2) 定期積金口数の推移



東京(38.2%減)が4割減に達し、それに北陸(20.9%減)、九州北部(20.8%減)、関東(19.4%減)が続いた。また定期積金比率の変化では、全11地区で低下がみられ、なかでも東京は3.2ポイントの低下であった。

3. 信用金庫別の状況

(1) 18 年度末からの増減

18 年度末から 28 年度末までの信用金庫別の 定期積金増減状況は、前期比増加が 70 金庫 (構 成比 26.5%)、増減なしが 2 金庫 (0.7%)、減 少は 192 金庫 (72.7%) となった。

残高の増加した 70 金庫のうち、50%以上の 増加が8金庫あった。一方で50%以上の減少は 13金庫あった。ちなみに口数の増加した金庫は 23金庫、減少した金庫は241金庫となる。

残高と口数の関係をみると、①残高・口数と もに増加が 18 金庫(構成比 6.8%)、②残高増・ 口数減が52金庫(19.6%)、③残高減・口数増が5金庫(1.8%)、④残高・口数ともに減少は187金庫(70.8%)であった(図表4、増減なしを除く)。

(2) 定期積金比率

28 年度末の信用金庫別の定期積金比率は、 ① 2 %未満が 27 金庫 (構成比 10.2%)、② 2 % 以上 4 %未満が 115 金庫 (43.5%)、③ 4 %以 上 6 %未満が 97 金庫 (36.7%)、④ 6 %以上は 25 金庫 (9.4%) となった (図表 5)。

18 年度末の割合と比較すると、2%未満が1.7% (5金庫)から10.2% (27金庫)に上昇した一方で、6%以上は43.5% (125金庫)から9.4% (25金庫)に低下している。28年度末の定期積金比率が1%の信用金庫は前年度と同様7金庫あった。

以上

(図表3) 地区別の定期積金残高

(単位:億円、%)

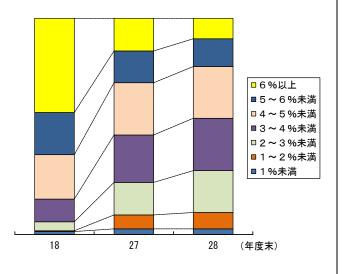
	18年	18年度末		27年度末		28年度末						
地 区	預金に			預金に		預金に	構成比	18年度末比		27年度末比		
		占める割合		占める割合		占める割合	伸队几	増減率	増減額	増減率	増減額	頁
北海道	2, 440	4. 1	2, 311	3. 3	2, 225	3. 1	4. 7	Δ 8.8	△ 215	△ 3.7	Δ	86
東北	2, 375	5. 9	2, 273	4. 3	2, 224	4. 1	4. 7	△ 6.3	△ 150	△ 2.1	Δ	48
東京	14, 038	6. 7	9, 642	4. 0	8, 673	3. 5	18.6	△ 38.2	△ 5,365	△10.0	\triangle 9	969
関東	9, 777	4. 6	8, 253	3. 2	7, 879	3. 0	16.9	△ 19.4	△ 1,897	△ 4.5	\triangle 3	373
北陸	2, 354	6.9	2, 058	5. 5	1, 861	4. 9	4. 0	△ 20.9	△ 492	△ 9.5	Δ	197
東海	13, 967	6.3	12, 670	4. 4	11, 818	4. 0	25. 4	△ 15.3	△ 2,148	△ 6.7	Δ 8	852
近 畿	9, 035	4. 0	7, 819	2. 8	7, 308	2. 5	15.7	△ 19.1	△ 1,726	△ 6.5	\triangle 5	510
中国	2, 786	5. 2	1, 728	2. 9	1, 675	2. 8	3.6	△ 39.8	△ 1,110	△ 3.0	Δ	53
四国	762	3.6	974	3.6	782	2. 8	1.6	2. 5	19	△19.7	Δ	192
九州北部	965	5.0	892	4. 0	764	3. 4	1.6	△ 20.8	Δ 201	△14.3	Δ	128
南九州	1, 374	5.6	1, 206	4. 4	1, 198	4. 2	2. 5	△ 12.7	△ 175	△ 0.7	Δ	8
合 計	59, 916	5.3	49, 893	3. 7	46, 475	3. 3	100.0	△ 22.4	△13, 441	△ 6.8	△3,4	417

(備考)沖縄県は合計に含む。

(図表4) 信用金庫別の定期積金残高と 先数の関係 (18→28 年度末)

120 口数の増減率 (%)
90 60 30 50 100
A 100 A 50 50 100
A 30 A 60 A 90 A 120
(備考) 増減なしを除く。

(図表5) 信用金庫別の定期積金比率



本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようにお願いします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。